

大江首席交渉官代理による記者会見の概要  
(カトラー米国次席通商代表代行との協議後)

日時：平成 26 年 7 月 1 日（火）17:00～17:03

場所：外務省中央玄関

記者：2 日間の交渉を終えて、率直な今の感想、進捗状況を教えてほしい。

大江首席交渉官代理：正式な協議としては昨日、今日、2 日間協議を行い、日米間で残っている問題を協議したが、残っている問題だけにそう簡単に話がつく問題ではないので、何かについて合意したとか、距離が大きく縮まったということではないが、率直な感想として、今回非常に良い協議だったと思う。良い協議というのは、非常に双方が真剣に突破口を見つけるために色々知恵を出し合ったり、本音の議論ができたという気がしている。

記者：知恵を出したというのは、具体的にはどんなことか。

大江首席交渉官代理：具体的な内容は言えないが、残っている問題というのは、随分前から言っている通り、全体が連立方程式なので、色々な変数を埋めていかなければならないが、どういう理由でどういうところがお互いに動きにくいということが非常に理解が進んだと思うので、お互いにできないことはできない中で、どういうところが歩み寄りの可能性があるのか、どういう風に知恵を出せばもう少し歩み寄れる可能性があるのではないかとということを具体的に話せた。

記者：オバマ大統領が年内妥結に向けて意欲を示しているが、今後のスケジュールに関して、どのように進めていくのか。

大江首席交渉官代理：ルールはルールでまた別の進め方をしていくが、MA 交渉については、日米と、日米以外について同時に交渉をやっていて、ほとんど毎週色々な国に出張したり、色々な国と交渉を行っている。日米は今回の交渉の後、今週からオタワで首席交渉官会合があるので、明後日から別の国に出張に行き、オタワは後半から参加して、いくつかの国と MA 交渉を行う予定であり、オタワの首席交渉官会合が終わった後、そのままワシントンに行き、7 月 14、15 日と米国との次の交渉を行う。

記者：7 月 14、15 日はカトラー次席通商代表代行と今日の続きを行うという理解でよいか。

大江首席交渉官代理：その通り。私も米国にゼロから行くより、オタワから行った方が効率が良いので、そのようにした。

(以上)